

紹介

インターペット ～人とペットの豊かな暮らしフェア～ 開催される

令和6年4月4日(木)～7日(日)までの4日間、東京ビッグサイトにおいて、(一社)ペットフード協会、(一社)日本ペット用品工業会及びメッセフランクフルトジャパン(株)主催による「第13回インターペット～人とペットの豊かな暮らしフェア～」が開催された。

会場には、4日間で来場者67,022人、犬や猫等のペット30,376頭が飼い主とともに訪れ、会場は大いに賑わった。本会として10回目の参加となる今回は、ブース出展、本会主催ステージ企画及びアリーナにおけるキッズ獣医師体験を実施した。以下に概要を報告する。

会期中、出展ブースでは、犬と猫とマイクロチップ情報登録に関する情報揭示や、関連グッズの配布、来場者からの質問対応を行い、啓発活動を行った。

4月6日(土)には、本会主催のステージ企画とアリーナ企画であるキッズ獣医師体験が行われた。会場内の特設ステージでは、本会主催のステージ企画「人と動物の幸せな暮らしを考える～保護活動と獣医療の現場から～」が開催された。

本会鳥海副会長を座長・進行役として、「人と動物の幸せな暮らし」について、(一社)アニプロの原 奈弓代表理事、(一社)Do One Goodの高橋一聡代表理事によるステージが行われた。

神奈川県の実鶴町を中心に動物保護活動を行っている原 奈弓代表理事からは、保護された動物たちの実際の傷病を例に獣医療や行政との連携の重要性について講演が行われた。また、高橋一聡代表理事からは、グルーミ

ングを学ぶために留学したアメリカと日本の保護団体、愛護団体の違いや、実際に災害支援活動を行った経験から、飼い主ができる災害への備えについて講演された。

同日、終日に渡り開催された「キッズ獣医師体験」では、東京都獣医師会、SJDドッググルーミングスクール及び日本獣医学生協会(JAVS)の協力により、子どもたちを対象とした動物診療の模擬体験企画を開催し、75名の参加者が小動物診療獣医師の仕事の雰囲気味わった。

本会では、今後ともさまざまなイベント等を通じ、市民向けの普及推進活動を行うこととしている。



図1 本会主催のステージ企画「人と動物の幸せな暮らしを考える～保護活動と獣医療の現場から～」で司会進行を務める鳥海副会長



図2 講演するアニプロの原 奈弓代表理事



図3 講演するDo One Goodの高橋一聡代表理事



図4 「人と動物の幸せな暮らしを考える
～保護活動と獣医療の現場から～」ステージ風景



図5 キッズ獣医師体験で犬の健康状態を確認する児童



図6 キッズ獣医師体験にご協力いただいた東京都獣医師会会員獣医師と日本獣医学生協会（JAVS）スタッフ